授業科目名 <英訳>	臨床実践指導学 Practice to Educations		of Clin	ical Psyc	hology	担当		教育学 教育学 教育学	研究科研究科研究科院的实验的 研究科研究外 研究科研究科研究科科研究科	教授 教授 教授	松下	知章善邦俊康泰靖姫康子 宏裕雄裕宏恵歌介	
配当学年	院	単位数	2	開講期	月 通	¥	曜時限	艮 月5月	∃ 6	授第	Ě形態	実習	
共用科目										-			

[授業の概要・目的]

- 1.心理臨床面接をおこなううえで必要な考え方、具体的な知識、姿勢などについて、これまでの 各自の実践と関連させて実習をおこなう。また、それをもとに臨床実践指導のあり方について考察 する。
- 2.臨床心理学の初学者に実習的な事項を実践指導する上での必要な考え方、具体的な知識や姿勢 について学ぶ。

[授業計画と内容]

この授業の参加者は、大学院教育学研究科附属心理教育相談室で、実際にクライエントを担当して心理療法をおこなう。また、担当事例についてカンファレンス等で報告し検討した体験をもとに、グループでの議論等を通して、臨床実践指導の方法について検討をおこなう。学部学生をはじめとする臨床心理学の初学者に、心理療法・心理査定などの実習的な事項について実際に指導をおこない、そこでの体験をもとに、やはリグループで臨床実践指導のあり方について考察する。

[履修要件]

本授業は、心理臨床学/臨床実践指導学/臨床心理実践学のすべての授業と密接に関連するので、 それらの授業を受講することが望ましい。

[成績評価の方法・基準]

出席と実習へのコミットおよびレポート

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))

『便覧』オフィスアワーの欄を参照。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。